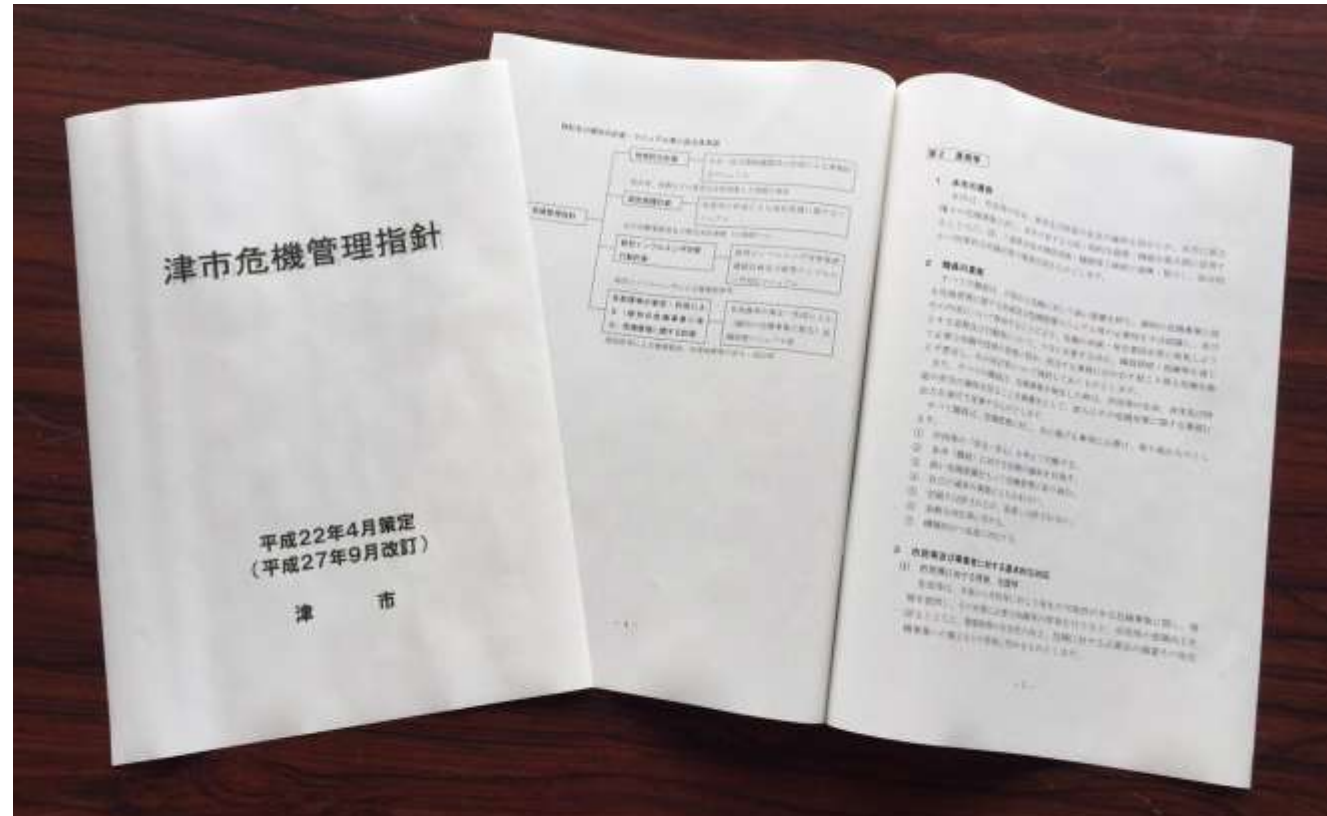


津市危機管理指針を改訂



平成27年9月7日

津市危機管理指針策定の目的

平成22年4月策定

危機とは、

- 市民等の生命、身体、財産に重大な被害等を及ぼす事件・事故
- 市民等の生活に重大な不安や不信を与える事件・事故
- 本市行政の円滑な運営に重大な影響等を及ぼす事件・事故 など

これらの危機事象に関し、危機管理に係る方針及び体制等に関する
基本的事項、危機対策に係る標準的な対処の方向性等を定める

- 公務の円滑かつ適正な執行の維持
- 市民等の生命、身体及び財産の安全の確保
- 市民等の本市政に対する信頼の確保

安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す

津市危機管理指針による危機対策

区分	時期	主な対策事項
事前対策	平常時	危機事象に係る調査・研究、資機材・設備等の整備、危機管理マニュアルの策定・作成等
応急対策	緊急時	初動体制の確立、応急対策の実施、市民等の安全確保等
事後対策	収束後	安全確認、施設の復旧、再発防止の措置等

津市危機管理指針改訂の経緯①

仮釈放中男性逃走事案 平成27年5月27日発生

概要

仮釈放中の男が三重中央医療センターで受診中に、無人のタクシーを盗み逃走した

- ・仮釈放中であり、刑務所からの脱走ではない
- ・凶器は持っていない

本市の判断

窃盗事件であり、危機事象には該当しない

本市の対応

- ▶ 市内の全幼稚園、小・中学校及び全保護者へ連絡（市教育委員会事務局）
- ▶ 保育所保護者へ情報提供（健康福祉部）
- ▶ 市内全自治会長に対し情報提供（各総合支所、市民部）
- ▶ 警察の捜査に支障を来たすため、無線での呼びかけを控える（危機管理部）

津市危機管理指針改訂の経緯

仮釈放中男性逃走事案に対し、各部等が各々のルールに従って対応した結果、

○ 発生事案に対する総合的な連絡調整

○ 正確な情報収集

○ 情報伝達の円滑化

が不十分であった



更なる対応力の向上を目指すため、危機事象に該当しない事案の発生に関してのフロー(マニュアル)を作成

津市危機管理指針改訂の経緯

しかしながら、発生段階においては危機事象には該当しないものの、その後の状況の変化によっては危機事象へ発展する可能性のある事案が存在



危機事象への発展を見据えた全庁的なルールを定め、
危機対応の前段として、

平成27年9月7日付けで津市危機管理指針を改訂

津市危機管理指針の改訂

危機対策における「事前対策区分」に、新たに「事案発生時」を加え、「平常時の危機対策」と「事案発生時の危機対策」に区分し、事案発生時における各部等の対応を定める

区分	時期	主な対策事項
事前対策	平常時	危機事象に係る調査・研究、資機材・設備等の整備、危機管理マニュアルの策定・作成等
	追加 事案発生時	情報収集、情報の共有及び分析、市民等への情報提供、事案への対応等
応急対策	緊急時	初動体制の確立、応急対策の実施、市民等の安全確保等
事後対策	収束後	安全確認、施設の復旧、再発防止の措置等

事案発生に対する対応フロー

危機事象でない事案の場合

事案発生！

関係部による情報収集等

状況に応じた関係部による
情報共有・分析（伝達等の確認）

事案への対応・
状況に応じた情報提供

県・警察等との連携

※必要と判断した場合
市民、学校等機関、報道機関
への広報・情報提供

状況の中で「危機事象」とされた場合

危機事象
フローに切
り換えて対
応！

危機事象の場合

危機事象発生！

関係部による情報収集等

報告

市長・副市長

指示

各部等による対応
情報の収集・分析、緊急対策

必要に応じ、連絡調整会議、
対策推進会議、対策本部を
設置し、対応を検討

市民への広報・
報道機関等への情報提供

危機の収束

今後の対応

平常時においては、従来の対応に加え、危機事象に該当しない事案が発生した場合は、情報収集、情報共有・分析、事案への対応、状況に応じた情報提供を実施する

事案が発生した場合は、危機事象への発展の可能性を常に注意し、本指針で定める対応を実施する

事案が危機事象へ発展したと判断した場合は、本指針で定める応急対策へ移行し、事態の収束を図る

全国で一番早くデイレースをスタート！

**平成27年10月3日から
本場レース開始時間を30分繰り上げ**

平成27年8月11日オープン

ミニボートピア名張の来場者・売上実績

平成27年9月7日

ボートレース津の入場者・売上の状況

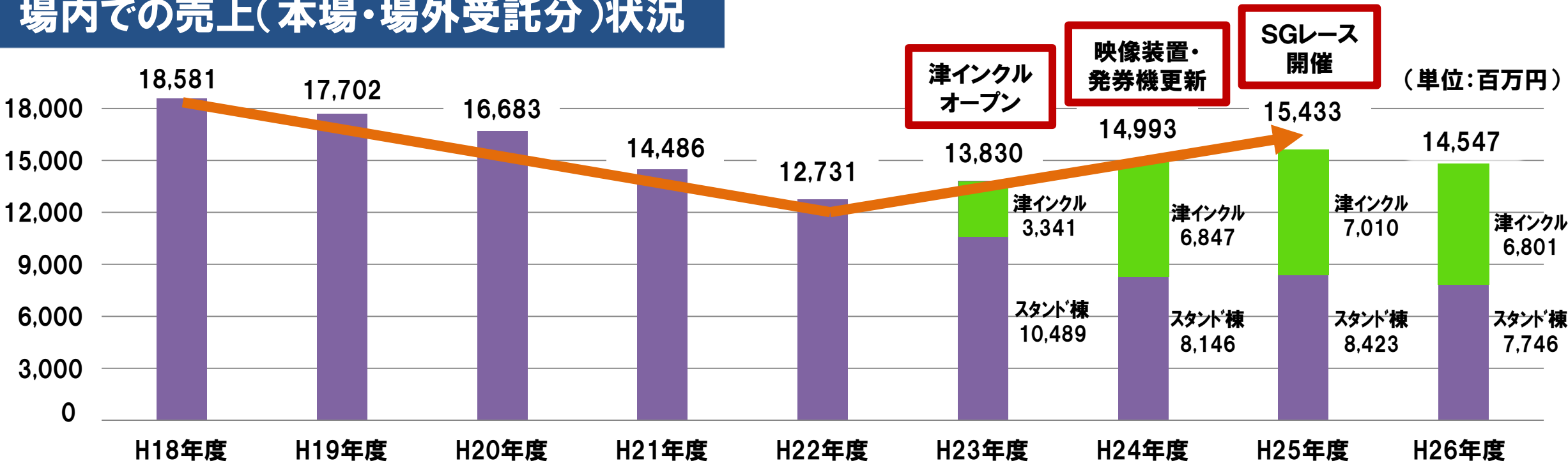
入場者数(本場)・売上金額

(単位:千円)

	入場者 (人)	本場売上 ①	ネット・電話 投票	場外委託 売上	売上合計 ②	場外受託 売上③	売上総合計 ②+③	場内売上総合計 ①+③
平成22年度	420,481	7,743,858	5,248,092	5,635,692	18,627,642	4,987,398	23,615,040	12,731,256
平成23年度	413,899	7,509,097	5,984,221	7,738,900	21,232,218	6,321,000	27,553,218	13,830,097
平成24年度	361,561	6,572,055	6,762,619	9,743,027	23,077,701	8,420,899	31,498,600	14,992,954
平成25年度	355,646	6,221,398	8,158,140	12,648,241	27,027,779	9,211,254	36,239,033	15,432,652
平成26年度	332,565	5,612,433	7,141,826	9,444,032	22,198,291	8,934,660	31,132,950	14,547,092

場内での売上(本場・場外受託分)状況

(単位:百万円)



新たな取り組み「Change ツー Boat！」①

電話投票会員や10時に開門するボートピアなどでの
購入促進・売上増を目指す、新たな取り組みとして



平成27年10月3日(火)から、
第1レース開始時間を30分繰り上げて
10時10分にスタート展示開始

全国のボートレース場で一番早いデイレースを開催！

メリットと目標

30分早く繰り上げてレースを開始することで

メリット① 10時00分開門のボートピア等で、開門早々に他場に先駆けて第1レース(スタート展示10時10分、発売開始10時15分)を開催することで、売上アップに期待！

メリット② ボートレース津でのメインレース(最終レース)の発売締切が16時(予定)になるため、他のボートレース場のメインレースの発売開始(16時10分頃)と連続した発売が可能となり、売上アップに期待！

メリット③ 電話投票会員やネット投票会員など全国のボートレースファンの購入促進や新規獲得を期待！

目標 年間約2,000万円の増益！

新たな取り組み「Change ツー Boat！」②

レース開始時間の30分繰り上げにあわせ

シードレースの実施

第1レースの1号艇に主力のA級選手、2号艇～6号艇はB級選手が基本となるシードレースを実施

進入固定レースの実施

これまでと同様、ファンの皆様に定着している、1号艇をA級選手とした進入固定レースを第9レースに実施

推理しやすいレースを実施し、売上アップに期待！



平成27年8月11日オープン

ミニボートピア名張の来場者・売上実績

平成27年8月11日オープン！ミニボートピア名張

三重県下初！

全国63番目！

ボートレース津として
初の場外発売場



発売所



一般席



有料席



有料グループ席

ミニボートピア名張 施設概要

名 称

ボートレースチケットショップ 「ミニボートピア名張」

位 置

名張市瀬古口30番地1

営業日時

10時から21時頃まで

営業日数

年間350日以上

販売場数

ボートレース津開催の全レースを含め、1日最大6場

座 席 数

一般席100席、有料席50席、有料グループ席12席

面 積

敷地面積 14,157.21m² 発売所面積 1,422.46m²

ミニボートピア名張の来場者・売上状況

オープン日(8月11日)から8月31日までの来場者・売上状況

1日当たり、来場者700人・売上700万円の目標に対して

来場者

合計 18,415人

1日当たり 877人

売上

合計 14,251万円

1日当たり 679万円

来場者数 125% 売上 97%

	8月																					
	11日 (火)	12日 (水)	13日 (木)	14日 (金)	15日 (土)	16日 (日)	17日 (月)	18日 (火)	19日 (水)	20日 (木)	21日 (金)	22日 (土)	23日 (日)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)	30日 (日)	31日 (月)	計
来場者	714 人	670 人	910 人	903 人	1,129 人	1,267 人	801 人	685 人	711 人	890 人	684 人	964 人	1,086 人	660 人	963 人	945 人	779 人	739 人	963 人	1,164 人	788 人	18,415 人
売上	580 万円	487 万円	746 万円	769 万円	782 万円	956 万円	645 万円	534 万円	554 万円	723 万円	446 万円	658 万円	751 万円	597 万円	723 万円	667 万円	677 万円	590 万円	771 万円	1,004 万円	591 万円	14,251 万円